書、醍醐資祐氏は趣旨綱領、北野勇吉田口源記兩氏規約を夫々朗讀し、宮崎勝之氏役員選擧報告を爲し、次に組合長楢崎氏の挨拶あり

夫れより野田遞相、床次內相、元田鐵相、柴山大將、有吉知事等の祝辭披露あり、ゼノア會議に日本政府代表たりし貴族院議員內田嘉吉氏の「日本海員組合に望む」と題する祝文は本社編輯長牧野曲水氏朗讀、續いて服部一三氏、砂田野田兩代議士、櫻井市長、西見縣會議員、中村市會議員、福本水上署長、各新聞社、船主協會、海運業組合、郵船商船東洋各會社、掖濟會、協調會、海員協會、國際機關士會、共同救濟會、商船同志會、海員ホーム等の代表者夫々祝詞を述べ、萬歲を三唱して盛會裡に閉會、午後一時より酒井浩洋氏外十餘名の熱烈なる演說ありたり

尙ほ本組合役員左の如し

組合長 楢崎猪太郎
副組合長 濱田國太郎　龜井司

理事
横山孫作　神谷乙吉　西向太郎
田口源記　堀内長榮　池本國雄
醍醐資祐　北野勇吉　福本九平
三和國章　大道寺謙吉　根津義計
宮崎勝之　小林文吉　山本隆逸
溝口傳　平井敬次郎　小林萬次郎

嘱託理事
中野文夫　佐藤貞藏
鶴野隆一　岡島雅雄

顧問
岡崎憲　山脇武夫
堤良明　庄九一

大正10年5月16日
日本海員組合

六

日本海員組合発會式席上挨拶

閣下並ニ諸君本日本組合ノ発會式ヲ擧ケルニ當リマシテ雨天ニモ拘ラズ特ニ貴重ナル時間ヲ御割キ下サイマシテ斯モ多數ノ御光臨ヲ辱フシマシタコトハ實ニ本組合ノ門出ニ一段ノ光彩ヲ添ヘル次第デアリマシテ殊ニ平素社會カラ殆ト忘レラレテ居ル様ニ思ツテ居リマシタ私共海員ニ於キマシテハ茲ニ始メテ此ノ大光明ノ舞臺ニ上ツタ心地致シマシテ衷心ヨリ僖レシク深ク感謝スル處デアリマス本組合ハ時代ノ推移ト我海運ノ立場ニ鑑ミマシテ先刻朗讀致シマシタ趣旨綱領及ビ規約ノ通リ我海運ノ原動力ヲ以テ自ラ任ジテ居ル私共海員ノ使命ガ如何ニ重且大ナルカヲ感ジマスルト同時ニ此使命ヲ果サン爲ニハ從來ノ如ク何等ノ意義モ無ク個々別々ニ其日暮ヲシテ働イテ居ルバカリデハ何等ノ効果モ無イノデアル故ニ此ノ際斷然旧習慣ヲ棄テテ新